

公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター

事業名	北海道留学生ふれあい交流inくりやま						
実施期間	平成26年7月25日(金)から26日(土)						
場所	栗山町						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	26	50	3	2	3	10000	10084 名

<実施内容>

■くりやま夏まつりに参加(25日)  
留学生一行は札幌からバスにて1時間ほどで栗山町に到着し、椿原紀昭町長の歓迎を受けた後、早速、法被に着替えて祭り会場の屋台など祭りの雰囲気を楽しんだ。またステージパフォーマンスにも飛び入り参加し、町民に向けたご挨拶のあと、中国少数民族の歌やインドのダンスなどを披露した。夜には栗山町役場チームの一員として「郷土おどりパレード」に参加した。郷土踊りは事前に栗山町職員から指導してもらって練習しており、はじめは独特の振り付けに苦戦しながらも、「太鼓をたたいて」「いらっしやい」などのかけ声を合わせ、短期間でマスター。



くりやま夏まつりに参加



郷土おどりパレード本番



ハサンベツ里山地区を散策



グループディスカッション

迎えた本番では練習の成果を十分に発揮し、楽しみながら、見事片道約400mのメイン通りをおよそ1時間かけて踊りきった。その後は疲れも見せず青年部の方々と一緒に「活みこし」に参加。ワッショイ！ワッショイ！と元気なかけ声とともに心と力を合わせて皆で商店街を練り歩き、祭りの熱い夜を盛り上げた。打ち上げとして行われたバーベキューパーティーでは祭り参加者と一緒にジンギスカンを食べて楽しい夜のひとときを過ごした。

■栗山町での環境への取り組みについて学ぶ(26日)

栗山町では、国蝶オオムラサキ生息の国内東北限となる発見を景気として、「人と自然が共生するまちづくり」が進められ、自然体験や環境教育活動を積極的に展開してきている。今回宿泊した「雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス」も、戦前の1936年(昭和11年)に建設された木造2階建ての校舎を、2009年(平成21年)に財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の支援と、延1,500人におよぶ町民ボランティアの参加によって、「環境教育を行う宿泊可能な体験施設」として再生させた建物である。留学生は同施設を運営しているNPO法人雨煙別学校の協力のもと、栗山町の環境への取り組みについて、講義や「ハサンベツ里山地区」の散策を通じて学んだ。前夜には同施設で蛍も観賞でき、留学生からは、「普段自然にあまり触れないので新鮮だった」「自然の大切さについて考えることができた」など感想が挙がった。お昼には、同地区で収穫されたトマトや薪などを使ってピザ作りを行い、自然の恵みに感謝しながら、食事を楽しんだ。

## <参加者からのコメント>

劉子瑜 さん(中国 )/Ms. Liu Ziyu

本場の日本生活を体験しました。これは私にとって一番有意義な経験です。また友達もたくさんできました。

ハデイヤ ウィルハクシャ ティーパックさん(インド)/Mr. Hadya Virupaksha Deepak

I have enjoyed this program and it was a good chance to interact with local residents whom really very kind and warm feelings.

I'm looking forward to interact and contact closely with Japanese culture. So why I have applied for this program.